

令和元年度肥料の業務報告（平成31年4月から令和2年3月）

1 業務の概要

「肥料取締法」に基づき、県内に生産事業場や販売事業場が所在する業者からの登録・届出業務を行った。また、立入検査を行い、原材料や生産者保証票、登録・届出事項、帳簿の備付け等法令遵守の確認及び指導を実施するとともに、収去した肥料の成分分析による公定規格適合の確認等を実施した。

併せて、平成30年度肥料年度入出荷量調査及び令和元年肥料生産数量報告により、本県の肥料の流通・生産の実態把握を行った。

2 肥料生産業者及び肥料販売業者からの登録・届出

(1) 普通肥料

ア 県知事登録肥料では新規登録1件、登録更新9件、変更6件で登録失効はなかったため、年度末の登録件数は前年度より1件増の43件となった。

イ 指定配合肥料は変更届2件のみで年度末の届出件数は前年度と同じ26件である。

(2) 特殊肥料

輸入特殊肥料も含め新規届15件、変更届34件、廃止届35件であった。年度末の届出件数は755件（生産業者739件、輸入業者16件）となった。

新規届の多くは経営移譲によるものだが、団体等の新設農場も見られた。

(3) 肥料販売

平成30年から継続して取り組んでいる、農薬販売店台帳等との照合等による肥料販売業者の現況確認を進めたところ、引き続き肥料取締法で定める手続きを行っていない業者が多数確認されたため、販売に関する届出件数が多かった。

新規届75件、変更届118件、廃止届144件であり、年度末の販売業者届出件数は1,165件となった。

表1 令和元年度の登録・届出件数

普通肥料	県知事登録肥料	新規登録	1件
		登録期間更新	9件
		変更届	6件
		相談	1件
		計	17件
	指定配合肥料	新規届	0件
		変更届	2件
廃止届		0件	
計	2件		
特殊肥料	新規届	15件	
	うち輸入特殊肥料	1件	
	変更届	34件	
	うち輸入特殊肥料	1件	
	廃止届	35件	

	うち輸入特殊肥料	0 件
	計	8 4 件
肥料販売	新規届	7 5 件
	変更届	1 1 8 件
	廃止届	1 4 4 件
	計	3 3 7 件
合計		4 4 0 件

表 2 令和元年度末時点の普通肥料の登録・届出状況

	肥料の種類	件数	業者数
県 知 事 登 録 肥 料	魚かす粉末	1	1
	蒸製骨粉	1	1
	なたね油かす及びその粉末	4	4
	ひまし油かす及びその粉末	1	1
	米ぬか油かす及びその粉末	2	1
	加工家きんふん肥料	1	1
	副産植物質肥料	1	1
	混合有機質肥料	2 2	4
	配合肥料	2	1
	炭酸カルシウム肥料	6	6
	副産石灰肥料	2	2
	計	4 3	2 3
	指定配合肥料	2 6	6
合計	6 9	2 9	

※業者数は延べ数

表 3 令和元年度末時点の特殊肥料の届出状況

指定名	届出数	業者数
魚かす	1	1
粗砕石灰石	4	3
発酵米ぬか	2	2
発酵かす	2	2
くず植物油かす及びその粉末	1	1
草本性植物種子皮殻油かす及びその粉末	3	3
草木灰	9	5
くん炭肥料	3	3
動物の排せつ物	1 3	1 2
うち豚ふん	4	4
うち家きんふん	9	8
動物の排せつ物の燃焼灰	2	2
堆肥	6 7 4	6 2 7
うち樹皮堆肥	9	5

うちオガクズ堆肥	4	4
うち牛ふん堆肥	5 1 2	5 0 3
うち豚ふん堆肥	4 1	3 8
うち家きんふん堆肥	4 5	3 0
うち生ごみ堆肥	9	8
うちその他の堆肥	5 4	3 9
貝殻肥料	2	2
貝化石粉末	1 9	1 2
カルシウム肥料	4	3
計	7 3 9	6 7 8

※業者数は延べ数

表4 令和元年度末時点の輸入特殊肥料の届出状況

指定名	届出数	業者数
魚かす	1	1
甲殻類質肥料	1	1
木の実油かす及びその粉末	3	2
乾燥藻及びその粉末	2	2
骨灰	4	4
動物の排せつ物	1	1
うち蚕ふん	1	1
グアノ	4	3
計	1 6	1 4

※業者数は延べ数

表5 令和元年度末時点の肥料販売業者の届出状況

届出数	業者数
1, 1 6 5 件	1, 1 6 2 件

※3業者が重複して届出受理しているため、業者数と届出件数が一致しない

3 肥料の入出荷量（流通量）

- (1) 調査対象：県内卸業者及び県内に複数店舗がある広域小売業者等35業者
- (2) 集計期間：平成30肥料年度（平成30年6月から令和元年5月）
- (3) 結果：平成30肥料年度の肥料入出荷量は約9万9千6百トン（前年比91%）で、初めて10万トンを下回った。
 - ア 普通肥料：指定配合肥料等で前年増となったが、塩化加里が前年比約62%となった影響もあり、前年比約98%の約8万7千トンとなった。
 - イ 特殊肥料等：堆肥の入出荷量が前年比約63%となった影響で、前年比約61%の約1万2千トンとなった。

表6 平成29肥料年度及び平成30肥料年度の入出荷量（単位はトン）

肥料の種類		平29肥年	平30肥年	前年比(%)	
窒素質肥料	硫 安	1,169.6	1,181.8	101.0	
	硝 安	11.7	10.2	87.8	
	尿 素	637.8	732.8	114.9	
	石灰窒素	1,146.4	1,277.3	111.4	
	ホルムアルデヒド [※] 加工尿素肥料	1.1	1.1	100.0	
	混合窒素肥料	28.7	37.4	130.2	
	その他	388.9	358.9	92.3	
	小 計	3,384.0	3,599.4	106.4	
	りん酸質肥料	過りん酸石灰	835.9	719.7	86.1
		重過りん酸石灰	94.1	95.5	101.5
熔成りん肥		1,633.4	1,352.4	82.8	
腐植酸りん酸		7.8	5.1	65.6	
加工りん酸肥料		1,060.7	946.4	89.2	
混合りん酸肥料		159.4	141.9	89.0	
熔成けい酸りん肥		845.5	703.6	83.2	
その他		6.2	131.1	2,113.9	
小 計	4,643.0	4,095.7	88.2		
加里質肥料	硫酸加里	389.8	471.6	121.0	
	塩化加里	8,194.3	5,047.7	61.6	
	硫酸加里苦土	1.4	0.6	42.9	
	重炭酸加里	4.3	7.8	180.2	
	けい酸加里肥料	762.0	719.6	94.4	
	その他	21.0	17.0	80.9	
	小 計	9,372.9	6,264.2	66.8	
有機質肥料	植物油かす	1,773.6	1,646.3	92.8	
	魚かす粉末	59.2	61.8	104.3	
	混合有機質肥料	242.6	318.6	131.3	
	その他	15.5	30.8	198.5	
小 計	2,090.9	2,057.5	98.4		
複合肥料	NK化成肥料	713.2	730.9	102.5	
	PK化成肥料	643.7	375.4	58.3	
	NP化成肥料	22.0	15.1	68.4	
	高度化成肥料	18,785.4	17,871.4	95.1	
	普通化成肥料	2,272.4	2,417.9	106.4	
	配合肥料（30%以上）	159.7	192.6	120.6	
	配合肥料（30%未満）	39.4	37.3	94.7	
	成形複合肥料	270.4	264.2	97.7	
	被覆複合肥料	3.1	2.5	78.9	
	液状複合肥料	1,425.3	1,329.2	93.3	

普通肥料	指定配合肥料	29,854.6	32,751.3	109.7	
	その他	116.4	124.8	107.2	
	小計	54,305.7	56,112.6	103.3	
	石灰質肥料	生石灰	1,813.5	1,304.7	71.9
		消石灰	1,991.6	1,907.9	95.8
		炭酸カルシウム肥料	6,455.1	6,188.3	95.9
		貝化石肥料	143.7	116.6	81.1
		副産石灰肥料	1,420.2	1,181.0	83.2
		混合石灰肥料	1,496.8	1,219.3	81.5
	小計	13,320.9	11,917.8	89.5	
	けい酸質肥料	1,166.8	1,832.4	157.1	
	苦土肥料	235.3	329.0	139.8	
	マンガン質肥料	53.7	83.9	156.2	
ほう素質肥料	0.1	0.1	82.0		
微量要素複合肥料	13.5	14.4	106.8		
汚泥肥料等	974.4	1,025.0	105.2		
小計	2,443.8	3,284.9	134.4		
合計	89,561.4	87,332.1	97.5		
特殊肥料等	堆肥	16,982.5	10,705.1	63.0	
	動物の排せつ物等	1,543.7	132.7	8.6	
	貝化石粉末等	526.2	581.2	110.5	
	その他の特殊肥料	262.3	263.7	100.5	
	小計	19,314.8	11,682.8	60.5	
	土壌改良資材等	799.1	543.9	68.1	
合計	20,113.8	12,226.7	60.8		
総計		109,675.2	99,558.9	90.8	

注：小数点以下を四捨五入のため、小計及び総計は値を合計したものと一致しない。

4 肥料の生産数量報告

(1) 調査対象

ア 普通肥料	県知事登録肥料	43件	うち報告43件
	指定配合肥料	26件	うち報告26件
イ 特殊肥料	特殊肥料	609件	うち報告541件

※原発事故による帰還困難区域及び避難指示解除後の営農再開未確認の特殊肥料及び立入検査等で生産休止中を確認した特殊肥料は肥料を除く。

輸入特殊肥料 15件 うち報告15件

(2) 対象期間：平成31年1月から令和元年12月

(3) 結果：総生産数量は約20万トンで、前年比95%となった。

普通肥料の報告率及び輸入特殊肥料の報告率は100%であったが、特殊肥料の報告率は約89%のため、全体の報告率は約90%となった。

ア 普通肥料：普通肥料全体では約3千4百トンとなり前年比111%の増加となった

(ア) 県知事登録肥料：混合有機質肥料の生産数量増加により前年比107%の約2千
百トンとなった。

(イ) 指定配合肥料：平成30年度に5件新規届出があったため、前年比133%の6
62トンとなった。

イ 特殊肥料：生産数量の4分の3を占める牛ふん堆肥の生産量が減少したため、前年
比95%の約19万7千トンとなった。うち、輸入特殊肥料は前年比85%の60ト
ンであった。

未報告業者68件のうち、過去3か年報告なしが34件、前年度の生産数量報告が
千トン未満の業者は18件であった。

表7 本県に登録・届出された肥料の生産数量（単位はトン）

区分	肥料の種類	平成30年	令和元年	前年比 (%)
普通肥料	魚かす粉末	0	0	
	蒸製骨粉	0	0	
	なたね油かす及びその粉末	223	264	118.3
	ひまし油かす及びその粉末	181	200	110.5
	米ぬか油かす及びその粉末	10	9	93.9
	加工家きんふん肥料	0	0	
	副産植物質肥料	0	0	
	混合有機質肥料	1,076	1,402	130.3
	配合肥料	0	0	
	炭酸カルシウム肥料	356	122	34.1
	副産石灰肥料	734	772	105.2
	小計	2,579	2,768	107.3
	指定配合肥料	499	662	132.7
合計	3,078	3,430	111.4	
特殊肥料	特殊肥料の指定名	平成30年	令和元年	前年比 (%)
	魚かす	0	0	
	粗砕石灰石	64	153	238.7
	発酵米ぬか	2	3	142.0
	くず植物油かす及びその粉末	3	3	98.7
	草本性植物種子皮殻油かす及びその粉末	19	15	77.7
	草木灰	4	5	103.5
	くん炭肥料	58	31	52.6
	動物の排せつ物（豚ふん）	2,287	2,966	129.7
	動物の排せつ物（家きんふん）	7,096	6,318	89.0
	小計（動物の排せつ物）	9,383	9,284	98.9
	動物の排せつ物の燃焼灰	92	90	97.8
	堆肥（樹皮堆肥）	5,888	6,933	117.8
堆肥（オガクズ堆肥）	21	1,787	8,403	
堆肥（牛ふん堆肥）	146,025	138,027	94.5	

特殊肥料	堆肥（豚ふん堆肥）	11,883	9,937	83.6
	堆肥（家きんふん堆肥）	21,618	19,278	89.2
	堆肥（生ごみ堆肥）	2,097	2,021	96.4
	堆肥（その他の堆肥）	6,342	5,750	90.7
	小計（堆肥）	193,874	183,732	94.8
	貝殻肥料	277	180	65.0
	貝化石粉末	2,875	3,152	109.6
	カルシウム肥料	0	1	515.8
	小計	206,651	196,647	95.2
	輸入特殊肥料			
甲殻類質肥料	0	0		
乾燥藻及びその粉末	30	0	0	
骨灰	0	0		
動物の排せつ物（蚕ふん）	0	0		
グアノ	40	60	150.0	
小計	70	60	85.7	
合計	206,721	196,707	95.2	
総計	209,799	200,137	95.4	

注：小数点以下を四捨五入のため、小計及び総計は値を合計したものと一致しない。

5 肥料の立入検査及び指導事項

普通肥料は、県知事登録肥料について原材料・生産者保証票の確認を中心に行った。また、収去及び重量検査を行い、保証成分の確認及び内容量の確認を実施した。

特殊肥料は、帳簿の備付けや表示の添付を中心に指導した。また、生産量の多い肥料を中心に収去し、表示票の成分表示と成分含有量の差異を確認した。

肥料販売業者については、連絡の取れない業者中心に実施した。

検査結果に基づく行政指導はなく、口頭指導等のみであった。

また、肥料取締法第26条及び農薬取締法における疑義資料に抵触するおそれのある表記への指導を、東北農政局福島拠点及び当センター農薬担当とともに2件実施した。

(1) 普通肥料

県知事登録肥料で3件実施し、2点収去した。併せて1件の重量検査を実施した。

保証票等に不備はなく、収去品の分析結果及び重量検査いずれも合格であった。

(2) 特殊肥料

74件実施し、帳簿や表示の不備等について指導を行うとともに9点の収去を行った。

また、収去品の分析結果に基づく表示票の記載内容修正の指導も行った。指導内容及び件数は下記のとおり。

- ア 届出の不備 2件
- イ 帳簿の備付けの不備 5件
- ウ 表示の不備 35件（延べ件数）
 - うち表示なし16件
 - うち表示内容の不備12件

(3) 肥料販売業者業者

音信不通業者を中心に12件実施。6件は連絡先が判明し、必要な手続きを行った。

表8 月別肥料立入検査実施状況

区分		普通肥料	特殊肥料	肥料販売	月計 (件)
年・月		うち収去点数()	うち収去点数()		
平成31年	4月		2	2	4
令和元年	5月		25 (2)	2	27
	6月		6 (3)	2	8
	7月		6	2	8
	8月		5	3	8
	9月		2		2
	10月	3 (2)	8 (2)	1	12
	11月		6 (2)		6
令和2年	12月		7		7
	1月		7		7
計		3 (2)	74 (9)	12	89

表9 収去肥料検査結果

区分		件数
普通肥料	収去点数	2点
	うち正常でないもの	0点
	重量検査	1件
	うち正常でないもの	0件
特殊肥料	収去点数	9点
	うち表示の修正を要するもの	7点

表10 収去肥料の内訳

区分	普通肥料の種類	件数
普通肥料	副産石灰肥料	1点
	混合有機質肥料	1点
特殊肥料	特殊肥料の指定名	件数
	堆肥 (牛ふん堆肥)	7点
	堆肥 (豚ふん堆肥)	1点
	堆肥 (家きんふん堆肥)	1点

表11 収去肥料の成分分析点数

区分	窒素全量	リン酸全量	加里全量	アルカリ分	有機炭素	亜鉛全量	銅全量	水分
普通肥料	1	1	1	1				
特殊肥料	9	9	9		9	2	1	9

表12 特殊肥料の立入検査の内訳

指定名	件数
粗砕石灰石	2件
草木灰	4件
くん炭肥料	1件
堆肥	48件
貝化石粉末	19件